

トビタテ留学JAPAN活動報告書

地域人材コース第11期

熊本県立大学
総合管理学部
総合管理学科4年 後藤 寛



熊本の現状と事前活動



国内市場の縮小、熊本柑橘類の収穫量の減少

日本における柑橘類（みかん）の国内収穫量が減少傾向にあり、10年前(2011年)と比較して約20%減少している。また、熊本の生産量も同様に減少している現状がある。

データ参照元 : e-Start (<https://www.e-stat.go.jp/>) 2021年2月1日閲覧



知名度の低い熊本柑橘品種の存在

熊本には、全国的に有名な晩白柚、ばんかん以外にもすだちやザボンといった10種類以上に及ぶ柑橘類が存在しているが、知名度や人気度において、みかん県と称される2県（愛媛県、和歌山県）に比べてブランディングが弱い現状がある。



天草雇用推進協議会でのインターンシップ活動

留学前の事前活動として、天草産の廃棄用柑橘類を安価で買い取り、二次推進協議会においてインターンシップ活動を行った。天草地域において加工を施し、B to B商品として活用する取り組みを目の当たりにした。



柑橘加工品の現状

留学前の活動において、熊本柑橘類に関わる民間企業、行政機関にお話を伺った。どの組織においても、国内市場の縮小に比例して入荷量と出荷量ともに年々減少しており、海外への販路先としてはカナダのみ輸出している状態という現状が分かった。各地域のJAは廃棄用の青果を活用して加工品を生産、販売しており、裁量権を持って経営している事実が印象的だった。

留学目的と活動計画

留学目的

「熊本産柑橘加工品の海外販路開拓実現を目指す」

熊本産柑橘類の現状を踏まえ、熊本柑橘類の海外販路開拓の実現を目的とした活動を行う。海外販路先としては、熊本の民間企業において実績と繋がりがあり、高品質な熊本産柑橘類の需要が見込めるハワイ、インドネシアにて活動する計画を立てた。

留学目標

- 現地での市場調査を実施すること
- 熊本の企業と現地のバイヤーとベンダーを繋ぐこと
- 現地において販路先候補のお店を見つけること

成果

- 海外現地で熊本産柑橘加工品の試食会の実施
- 現地バイヤーとベンダーとの人脈づくりに成功
- 1件の販路先候補（飲食店）の確保に成功

※新型コロナの影響で進捗停滞状態

Philippines



本活動を行う上で、必要な英語力を養うことを目的として、フィリピンの語学学校（CEBU GLOBALIZATION ESL CENTER）にて語学留学を行った。2ヶ月の期間の間、スピーキング中心のマンツーマンレッスンに取り組んだ。

休日には、学校でできた友達と観光地巡りを行い楽しんだ。また、現地の生活様式、食事に触れ、長期間の生活の中で異文化体験を満喫できた。



インターン準備



海外インターンシップの受け入れ先を探すために、熊本のイチゴ農家で海外進出を進められている「イチゴラス」様を始め、多くの方々の協力を仰いだ。

画像参照元：<https://ichigolus.com/>
(2021年2月1日閲覧)

ハワイにおいては、現地でWebマーケティング、日系企業の海外進出支援事業を展開されている会社においてインターンシップ受け入れをお願いした。

海外インターンシップでの仕事は、裁量権を持って業務に取り組むことができた。活動を通して多言語を用いて働くことの大変さを身に染みて感じることもできた。また、同時にとても充実した時間となった。

Hawaiiトビタテ活動

熊本柑橘加工品の販路先開拓を目的としている本留学において、日本の高品質商品が流通する事例のあるハワイにて以下のような活動を行った。

テストマーケティングを含めたアンケート調査

現地の県人会の方に紹介いただいたレストランにて、熊本柑橘類（柑橘ピューレ）の加工品のテストマーケティング、アンケート調査を約50名の方々に行った。アンケート調査の結果は好意的な評価が多い結果となった。また、若年層には甘みの強い「みかん」、高齢層には苦みのある「ばんかん」の味に対して好意的な意見が多く、年齢層によって柑橘類の味の好み異なる可能性に気づくことができた。



ベンダーバイヤーとの商談

現地のバイヤー、ベンダーを訪問し、熊本柑橘加工品の輸送を見据える上で必要な手続きや、認証、マーケティング手法について話し合っただけでなく、輸出する際の送料や積載量、課題となることなどが流暢に話せるようになった。また、現地の流通している日本の商品について話を聞く程に、現地の需要が多様化しており、熊本産柑橘類の高品質性と種類の多様性という強みにあっていると感じた。販路拡大の可能性を強く感じる結果となった。



ボランティア活動

現地の邦人団体のチャリティー活動に参加した。障害を所持した子供達と家族を対象としたクリスマスパーティーの設営を行なった。現地の学生達と英語で活動するいい経験となった。



インターンシップ活動

日系企業の海外進出支援事業やWebマーケティングを展開している会社でインターンシップ活動を行った。活動を通して、自らの言語学力とコミュニケーション力の未熟さを痛感すると同時に、将来の理想像を漠然と掴むことができた。



INDONESIA



インターンシップ活動

インドネシア現地にてインターンシップ活動を行った。現地での活動は、主に営業活動や、衛生管理、慣習の違いを感じ、カルチャーショックを受けた。



現地の熊本柑橘類に関する活動

インドネシア現地にある熊本県人の方々に会い、現地で活動について話を聞く機会を得た。バリ島では、熊本柑橘類の栽培が進んでおり、熊本県人会の方が現地の流通をめざし活動されていた。比較的、輸出免疫条件の緩やかな東南アジア地域において、熊本農産物の地産地消を目指す活動にも今後、取り組んでいきたいと感じた。

留学後の活動について

留学活動後に、事後報告として、事前インターンシップにてお世話になった天草雇用推進協議会の田中様の元に伺った。留学を通して得たこと、また販路開拓先候補の紹介を行った。現在、新型コロナウイルスの影響により進捗は止まっているが、今後販路拡大の実現に向けて、貢献できるものがあれば携わっていきたい。



「留学」を通して「学んだ」こと

01 学ぶ姿勢

未知の領域に対して貪欲に飛び込める姿勢

本活動では、今までやったことのないことに挑戦する機会が多かった。この活動を通じて新しいことに挑戦する心構えや貪欲が学んでいく姿勢を得ることができた。社会人になってもこの初心を忘れず研鑽し続けたい。

02 熊本柑橘類の可能性

熊本の県産品が正当に評価される世の中を実現する

本活動を通して、熊本柑橘類の更なる可能性を感じる事ができた。特に東南アジア市場やハワイ市場に高品質な加工食品としての需要があると考えられるため、この活動をより発展させていきたい。

03 将来の理想像

マーケティングの専門性を活かし、官民を巻き込んで課題解決できる人材

本活動で行った海外のインターンシップの経験を通して将来の理想像を掴むことが出来た。将来的にマーケティング分野において、地域振興に携われる人材になりたい。

今後のキャリア

将来的に、熊本の地域振興に携わる人材になりたい。そのためにも、マーケティングの専門性を伸ばすことのできる企業にて研鑽を積むことを20代の目標としている。

卒業後の進路

卒業後は、デジタル領域に特化した広告代理店にて働く進路を選択した。地方における広報能力の重要性が問われる現代において、地方の価値あるモノが正当に評価される世の中を実現できるようになりたい。



寄附企業の皆様へ

この度は、トビタテ留学JAPAN「地域人材コース」を通じて、留学をご支援くださり、誠にありがとうございました。皆様のご協力により、私自身、一生モノの留学経験を得ることができました。本制度の利用なくしてやりたいことに集中した唯一無二の留学生活を送ることはできなかつたため、大変なご時世にもかかわらず、私達学生達に、挑戦の機会をくださることは忘れません。心から感謝申し上げます。本活動を通して私自身、多くの出会いと経験に恵まれ、将来のなりたい姿を拙いながらも掴むことができました。

これから私は、熊本の地域発展を志す社会人の一人となります。今後、皆様にお会いし、共に仕事をさせていただく機会もあるかと思いますが、熊本の発展のために精一杯努力する所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。

熊本県立大学 総合管理学部総合管理学科
後藤 寛